

# 食道 ESD 時にルゴール液による 接触性皮膚炎を来した症例についての検討

## 情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

### 研究目的

食道扁平上皮癌を内視鏡で見つれたり、その範囲を診断したりする上で、ヨード染色法は欠くことのできない検査方法です。これにはヨウ素デンプン反応がかかわっており、ルゴール液（ヨウ素-ヨウ化カリウム溶液）を散布することで食道扁平上皮内の組織グリコーゲンとヨードが反応し、健常食道上皮は黒褐色になるのに対し、癌部では染色性は乏しいため、癌部と癌部以外で色調の変化が現れます。ルゴール液散布による主な合併症として食道炎や胃潰瘍などが挙げられていますが、本センターでは頬部に接触性皮膚炎を来した例を複数経験しました。検索し得た限りでは同合併症の報告はなく、また同合併症を防ぐための明確な方法はガイドラインで規定されておられません。稀な合併症ではありますが、今回の検討で、接触性皮膚炎に関わる因子を同定できれば、ヨード散布時に患者さんを防護する策に関するエビデンスとなり得ると考えます。

### 研究期間

2024年3月1日から2027年2月28日（3年間）の予定

### 研究の対象となる方

2022年4月から2024年1月の間に日本赤十字社和歌山医療センター消化器内科で食道腫瘍に対し内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられた方のうち、ルゴール液による接触性皮膚炎を来した方。

### 研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、

食道 ESD 時のルゴール液散布によって接触性皮膚炎を来す要因について統計学的に調査します。

#### 使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出します。また研究用パソコンは、インターネットにつなぎません。論文化から 10 年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

#### 研究資金・利益相反について

いずれもありません

#### 研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

#### 個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

#### 研究責任者

松山 和輝 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

#### 共同研究者

岩上 裕吉 消化器内科 副部長

中谷 泰樹 消化器内科 副部長

赤松 拓司 消化器内科 部長

#### お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171（代表電話）

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20